

救急現場から見える “こころの危機”

～死にたい気持ちのリアルを聞く～

若年層を中心に増加するオーバードーズ(OD)や自傷行為、
希死念慮に関する相談・救急対応。

119通報の最前線での実際の対応から、現状や課題、
そして地域でできる支援について学びます。

最初のSOSを
受け止める
現場から学ぶ

日時

令和8年 9月17日(木)
14:00～16:00

場所

ラポールひらかた 大研修室
(枚方市新町2丁目1-35)

講師

枚方寝屋川消防組合、枚方断酒会

対象

市民、家族、地域住民、民生委員、PTA、学校関係者、
福祉関係者、医療機関職員、相談支援機関、行政職員など
本テーマに関心のある方

参加費
無料

自殺対策ゲートキーパーとは？

身近な人の「いつもと違う」に気づき、声をかけ、
話を聴いて、必要な支援につなぎ、見守る人のことです。

研修内容

- | | | | |
|---|-------------------------|---|--|
| 1 | 枚方市保健所の
未遂者支援事業 |  | ・事業の目的と取り組み
・支援の流れ・関係機関との連携 |
| 2 | 消防指令センターの役割 |  | ・119通報の流れ
・指令員の役割・夜間・休日の対応 など |
| 3 | OD・自傷・希死念慮に関する
通報の実態 |  | ・どのような119通報があるか
・多い時間帯・年代・性別の傾向 など |
| 4 | この数年の変化 |  | ・通報件数の変化・コロナ禍前後の変化
・繰り返し119要請があるケース
・現場で感じる課題や変化 など |
| 5 | 希死念慮を有する方への対応 |  | ・「死にたい」と訴えがあった場合の対応
・緊急性判断・安全確認・家族への助言
・警察・医療との連携 など |
| 6 | 事例紹介(可能な範囲で) |  | ・若年者OD・リストカット・飲酒+希死念慮 など
・支援につながったケース・対応に苦慮したケース など
※守秘義務に配慮した範囲で紹介します |
| 7 | 枚方断酒会の体験談 |  | ・死にたい気持ちを抱えていたその時を振り返って
・どのように支えられ、つながり、今があるのか |

お申込みについて

申込受付開始

8月17日(月)10:00～
(先着順)

お申込み方法

QRコードから
お申し込みください。



※定員に達し次第、受付を終了します。

定員 100名(先着順)

主催 枚方市保健所

お問い合わせ

枚方市社会福祉協議会
生活支援課

☎ 072-807-3017
(受付時間: 平日9:00～17:30)